

みつぎ便り

114号
3月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

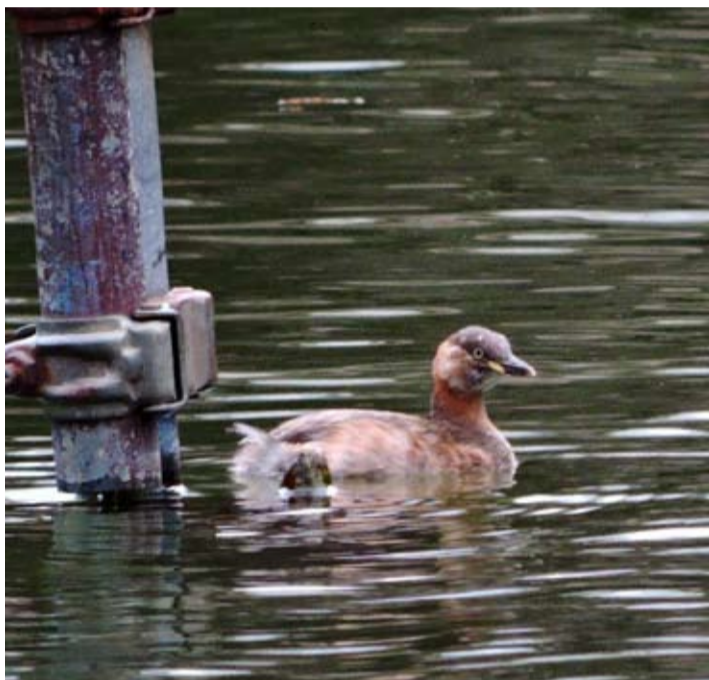
平成28年3月1日

<http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

カイツブリ

二月中旬、見次公園でカイツブリが見られました。公園での野鳥観察は十年になります。カイツブリが観察されたのは初めてのことです。

カイツブリは、主にアフリカ大陸、ユーラシア大陸に生息し、日本では北海道から南西諸島まで広く分布しています。北日本では夏鳥、本州中部以南では留鳥です。生息域は湖沼や河川で、海に出ることは少ないといわれます。冬羽は頭部から体部にかけて暗褐色、頬あたりは黄褐色の羽毛となります。夏羽は頭は黒褐色、頬から側頸が赤褐色で覆われます。尾は短く小型の鳥です。泳ぎは得意で魚類等潜水して補食します。鳴き声は「ケ



レケレ」「キリツキリツキリツ、キリリリリ」と鳴きます。カイツブリは万葉集にも読まれるほど身近な鳥です。呼び方が一般化したのは室町時代ともいわれています。カイツブリの語源は諸説ありますが、「カイ」は權あるいは掻いて潜るのカイ。「ツブリ」は、水に没するときの音、あるいは、「つぶら」というように、丸くて小さいものを意味するともいわれています。(利)



クロツカス

公園の南東にあるポンプ小屋とブロックの腐葉土箱の間からバス通り脇にかけて花壇が有り、年に二回花を植え替えしています。

す。その小さな花壇に今ヒヤシンスとクロツカスが花を咲かせています。

今回はクロツカスについて紹介します。クロツカスは寒さに強く育てやすい花です。原産地は地中海沿岸からアジアにかけてで、約八十種類もあります。早春に花を咲かせるものをクロツカスと呼んでいます。因みに秋に咲くものがサフランと呼ばれています。

今、公園で咲いているクロツカスは黄色と紫で、地面すれすれの位置に可憐な花を咲かせています。花が終わっても葉を切らず自然に枯れるままにして来年の栄養を球根が蓄えるようです。四月頃まで咲きますのでみんな楽しんでみましょうね。(安)

